

平成29年度 学校評価結

<平成29年度学校教育目標>

『兵庫が育む、こころ豊かで自立した人づくり』を基本理念とし、明るく充実した学校生活を送る中で、調和の取れた人間性を培い、創造性とチャレンジ精神を持って国際社会に貢献し、命と人権を大切にすることこころ豊かな人間を育成する。

<重点目標>

魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを実現するため、学校組織力の強化と教職員一人ひとりの資質能力の向上を図るとともに、指導方法や指導体制の工夫改善を行う。

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力等を活用する力の育成を図るとともに、生徒一人ひとりの能力・適性などに応じた学習指導を工夫することにより、主体的・創造的に生きる力を育む。
- 2 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員として自らを律しつつ、他人を思いやる心や豊かな人間性を育む。
- 3 学校の教育活動全体を通じて、規範意識や倫理観を高め、人権尊重の精神を育むとともに、主権者教育などを通して、将来社会の責任ある一員として活躍できる資質を培う。
- 4 自他の生命を尊重するとともに、健康管理ならびに安全管理に留意し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送ることができる資質・能力を育む。
- 5 特色ある教育課程を編成・展開し、生徒一人ひとりが自己をみつめ、自己を生かし、自己の進路を主体的に決定する能力を養い、自己実現に向けてチャレンジする心を育む。
- 6 ユネスコスクールの指定を活用し、持続可能な社会を実現するために、グローバル化する世界で積極的に活躍しようとする人間の育成を図る。

【自己評価の方法】
A; できている・・・5点
B; 概ねできている・・・4点
C; どちらかといえばできていない点が多い・・・2点
D; 全くできていない・・・1点

【総合評価の方法】自己評価の平均により、次の基準に従ってA～E段階で評価している。

A: 達成している(4. 5 ≤ A < 5. 0)

B: ほぼ達成している(4. 0 ≤ B < 4. 5)

C: 少し工夫が必要(3. 5 ≤ C < 4. 0)

D: かなり工夫が必要(3. 0 ≤ D < 3. 5)

E: 評価指標そのものに問題あり(E < 3. 0)

学校関係者評価

○事前に、生徒・保護者・教職員向けに共通のアンケートを実施し、その結果を学校評価委員会が実施される前に送付してもらっているので意見を整理しやすく、これからのことを前向きに検討できるようになっている点が良い。
 ○「未来塾」のように、社会で活躍している人材を授業に活用するのは良い。学びが将来に役立つことを実感することで、生徒のモチベーションは高まる。「未来塾」等、新たな良い取組をするなど、先生方が前を向いているのがよい。
 ○PDCAサイクルで学校改善が進むように、今後も適切に学校評価に取り組んでもらいたい。

番号	評価の観点	評価項目	評価指標	A	B	C	D	総合評価	今年度の課題と次年度へ向けて	担当部署
1	進路指導	一人ひとりの能力に応じたきめ細かな学習指導	授業だけでなく課題・補習・学習会などを利用して、成績不振者への補充、課題の提出、個別指導など、きめの細かい指導を行うことができている。また、選択科目等の開講講座の内容について見直しを行っている。	20	23	6	0	B (4.16)	(課題・次年度へ向けて) 新学習指導要領に向けて科目の検討。総合的な学習の時間に生徒の学びたい意欲を起こさせることができるような学部学科研究、教科研究を行いたい。「受験は団体戦」という観点から、補習、学習会に多くの生徒を参加させて雰囲気づくりを行う。早めに予定を連絡し、生徒に受講を進める。能動的な学習スタイルを確立させる。	ガイダンス部 各年次
2		年次と進路指導部との連携	模試等の結果を年次担当者と共有し、日々の進路指導に生かすとともに、生徒の進路実現に向けた補習等が実施できている。模試などの資料が面談などの進路指導に役立つよう、適宜進路検討会を行っている。また、3年次向けに進路通信を発行し、大学進学に関する最新の情報提供を行うことができている。	17	28	4	0	B (4.18)	(課題・次年度へ向けて) 課題としては、総合的な学習(1年)の時間において、学部学科研究をする時間がとれなかったこと。模試結果の分析報告を行っているが、結果をどう活用し生徒の学力向上につなげていくかが必ずしも明確でないことが上げられる。次年度へ向けて、総合的な学習の時間内での学部学科研究を実施すること。模試結果の分野別成績比較を活用すること。センターテストの分析を行うことを視野に入れる。	進路指導部 ガイダンス部
3		キャリア教育の実施	近隣の国立大学から大学教授を招いて学問講演会を実施し、主体的な進路選択と望ましい職業観を育むことができている。また、1年次の総合的な学習の時間において、「北須磨未来塾」など、生徒一人ひとりの進路実現に向けたガイダンス指導を充実させている。	20	23	5	0	B (4.21)	(課題・次年度へ向けて) 「未来塾」の実施と総合的な学習のあり方について検討する。また、総合的な学習の時間に生徒の学びたい意欲を起こさせることができるような学部学科研究、教科研究を行うようにする。学問入門ではより効果的な講演内容・講師の選択を行うようにする。就業体験事業への参加者については実施状況・記録等の集約をその都度、担当部署で行うようにする。	進路指導部 ガイダンス部
4	生徒指導	基本的な生活習慣の確立といじめ防止対策の徹底	専任と年次の生徒指導担当との連携を密にし、指導内容の確認や統一性を図るとともに、全校集会・年次集会等で伝達、確認することで、挨拶の励行、端正な服装、余裕ある登校等基本的な生活習慣の定着ができている。いじめアンケートを学期毎に実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。また、いじめ防止基本方針の見直しを行い、組織的にいじめの未然防止、早期解決が行えるように体制を整えている。	18	30	2	0	B (4.28)	(課題・次年度へ向けて) 拡大生徒指導部会を、学期はじめ及び各月職員会議後に定期的に開催する。挨拶の励行や端正な服装、余裕ある登校および遅刻指導については、明文化して共通理解を図ったうえで、生徒指導部と年次生徒指導係・担任と連携のもとに、継続かつ徹底した指導を行うようにする。	生徒指導部
5		生徒会を中心とした生徒の自主的活動の推進	生徒会執行部が中心となり、生徒が自主性をもって行事等の企画・運営できている。また、文化祭や体育大会等に生徒自身のアイデアを取り入れた新たな取り組みを行うことができている。	11	32	7	0	C (3.94)	(課題・次年度へ向けて) 生徒会執行部の役割分担と、各種専門委員との組織系統や分担を再編成・再構成する。大行事では、教師との連携のもと、生徒会執行部が各種専門員を動かす形をつくり、生徒の主体的かつスムーズな運営を図りたい。また、生徒の企画・発案について、生徒指導部との打ち合わせや折衝、企画書・要項の作成の指導などを通じて、現実的かつ責任のあるものとなるような手順を身につけさせるようにする。	生徒指導部
6		美化清掃の徹底	通常清掃や大掃除への真摯な取り組みにより、校内の整理整頓が維持できているとともに、生徒一人ひとりの美化意識の高揚が図られている。	11	29	9	1	C (3.80)	(課題・次年度へ向けて) 課題は、ゴミの分別・清掃の徹底を図ることである。そこで、次年度は生徒会・整備委員を活用しゴミの分別・減量の意識を向上させるようにする。また、校内美化のためにポリッシャーが1台しか無いため各クラスに床磨用ナイロンたわしを配布し、学期末に床の清掃を実施するようにする。	総務部

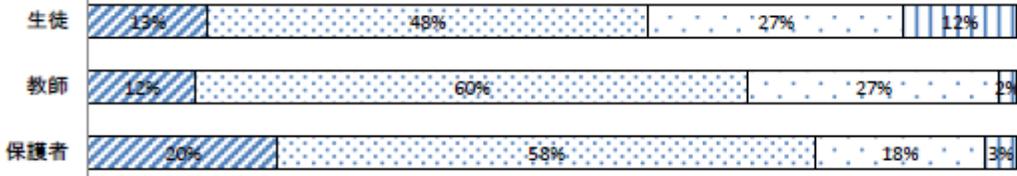
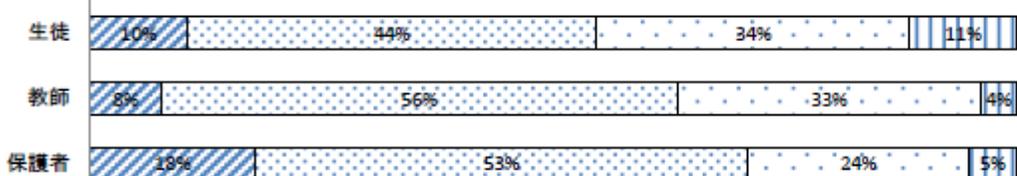
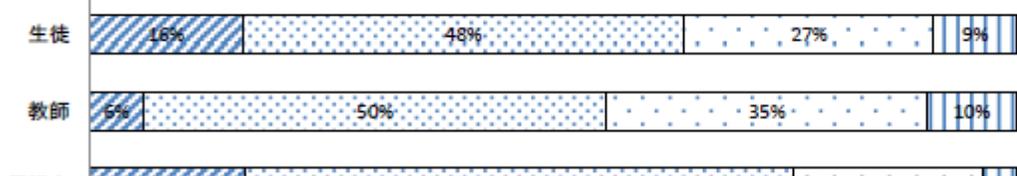
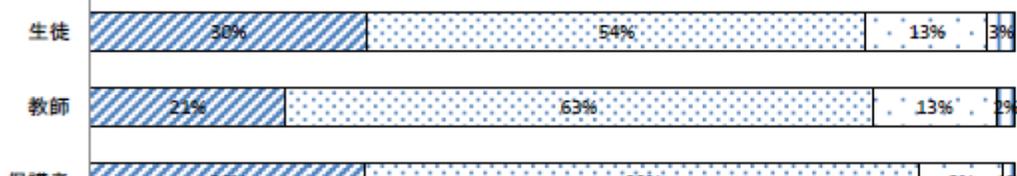
番号	評価の観点	評価項目	評価指標	A	B	C	D	総合評価	今年度の課題と次年度へ向けて（記述されていたもの抜粋）	担当部署
7	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	授業公開やホームページのリアルタイムの更新をはじめ、年次通信、保健日より、中学校・塾等での説明会等を通じて、本校教育活動の情報を提供し、充実した広報活動を行うことができている。	14	28	7	0	B (4.00)	（課題・次年度へ向けて）ホームページのリニューアルによって、更新回数は増加しているが、次年度へ向けて、さらなるホームページの拡大・充実を図っていく。	ガイダンス部
8		近隣の各種施設等との交流と自己有用感の育成	地域での演奏会、近隣の福祉施設への訪問・手伝い、特別支援学校の行事への参加を通して、地域との交流を深め、思いやりの心を育てている。また、通学路清掃「ふるさとクリーンアップ作戦」により、公共心を養うとともに、地域との結びつきを強めている。東日本大震災等の募金活動にも積極的に取り組んでいる。	12	27	9	1	C (3.82)	（課題・次年度へ向けて）課題は、多くの生徒が取り組んでいるにも関わらず一部の生徒だけが活動しているように捉えられていることである。次年度に向けて、引き続き地域での演奏会、近隣の福祉施設への訪問・手伝い、特別支援学校の行事への参加を実施する。また、ふるさとクリーンアップ作戦により地域との結びつきを強める。そして、活動内容を広報し校外に周知する。	総務部
9	家庭との連携	携帯メールによる緊急連絡システムの効果的な活用	ラインネットを有効に活用し、緊急時や重要事項の伝達が効果的に実施できている。	11	29	7	0	C (3.94)	（課題・次年度へ向けて）課題は、有効利用できない部分があったこと。次年度へ向けて、ガイドラインをひくことにより有効利用を促進する。	ガイダンス部 各年次
10		家庭と連携した教育活動の推進	保護者会、面談、電話等によるきめ細かな連絡を通じて、家庭と連携を図りながら教育活動に取り組むことができている。また、教育活動への理解促進を図るために、年次通信を定期的に発行するなど情報発信に努めている。	23	24	2	0	B (4.39)	（課題・次年度へ向けて）どの年次も生徒の状況に応じてきめ細やかに対応できている。年次通信も定期的に発行し教育活動への理解促進に努めることができた。次年度についても、家庭との連携を図りながら、教育活動のさらなる充実を目指す。	各年次(年次主任)
	教職員の資質向上	授業研究と指導力向上	授業公開や授業評価アンケート等を通して、指導方法等の工夫・改善を図っている。また、アクティブ・ラーニングに係る講演会や研究授業を実施し、新しい学力観に基づいた指導の在り方について研究・実践している。	18	27	3	1	B (4.18)	（課題・次年度へ向けて）課題は、公開授業への参加者数を増やすこと。研究授業がその場限りにならないようにすることである。次年度へ向けて、公開授業や研究授業を充実させるために、ラインネット等で広報を行うとともに近隣の中学校にも知らせることで参観者を増やすようにする。授業公開している期間に限らず、「先進校への見学」や「教科内での授業見学」を積極的にに行い、研鑽に努めるようにする。	教務部
12		生徒情報の共有と教育相談体制	年次との連携を密に、気になる生徒については面談を適宜行うとともに、カウンセラーによる面談を実施している。学校での生徒の様子と家庭での様子について、保護者と情報を共有し生徒把握に努めている。また、カウンセリングマインドに係る研修会を行い、教職員の指導力向上を図っている。	19	30	2	0	B (4.29)	（課題・次年度へ向けて）気になる生徒の中で、カウンセラーや医療機関につなげず、対応が難しいケースがあった。生徒や保護者、職員など様々な面で、生徒の特性やそれへの対応についての理解を進めていくことが課題である。次年度へ向けて、ケース会議やカウンセリングマインド研修などを通じて、根気よく地道に対応していくようにする。また、各年次、支援の必要な生徒については、カウンセラーや支援委員会と連絡を密にしながら今後もきめ細やかに対応する。	生徒指導部（保健） 各年次
13	学校の特色化	ユネスコスクールとしてのESDの推進	ユネスコスクールとして、福島県安達高校やJICA研修団など、交流の機会が充実している。また、年間計画に基づいて、国際理解教育や環境教育・エネルギー教育を中心に充実したESD教育を推進している。	18	26	5	0	B (4.16)	（課題・次年度へ向けて）ESD推進委員会で取り組むべき内容が多岐に渡るため、組織的に運営することが課題である。次年度へ向けて、ESD推進委員会内の役割分担を明確にした上で、仕事内容を共有するようにする。また、生徒に参加を呼びかける場合には、ESD推進委員会から校運・職員会議の了解を得た後、年次・担任等を通じて、生徒に呼びかけるようにする。	ESD推進委員会

平成29年度 学校評価アンケート結果

- 1 実施日 平成29年10月
- 2 回答者・回答率 生徒690名(96.7%)、保護者479名(67.1%)、職員52名(100%)
- 3 評価段階 4: と思う 3: どちらかといえばと思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない
- 4 総合評価 A: 達成している(3.1 < A ≤ 4.0) B: ほぼ達成している(2.6 < B ≤ 3.1)
C: 努力を要する(1.0 < C ≤ 2.6) (評価は4点満点)

質問内容・結果		平成29年度	総合(H29)	平成28年度	総合(H28)																				
<p style="text-align: center;">設問1: 明るく充実した学校生活を送っている 単位は、%</p> <p style="text-align: center;">□④と思う □③どちらかといえばと思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>設問1: 明るく充実した学校生活を送っている (単位は、%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>38%</td> <td>48%</td> <td>11%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>33%</td> <td>63%</td> <td>2%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>45%</td> <td>45%</td> <td>7%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>		回答者	④	③	②	①	生徒	38%	48%	11%	3%	教師	33%	63%	2%	2%	保護者	45%	45%	7%	3%	生徒 A 3.22 教員 A 3.27 保護者 A 3.39 TOTAL 3.29	A	生徒 A 3.12 教員 A 3.16 保護者 A 3.31 TOTAL 3.2	A
回答者	④	③	②	①																					
生徒	38%	48%	11%	3%																					
教師	33%	63%	2%	2%																					
保護者	45%	45%	7%	3%																					
<p style="text-align: center;">設問2: 北須磨高校に入学して良かった 単位は、%</p> <p style="text-align: center;">□④と思う □③どちらかといえばと思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>設問2: 北須磨高校に入学して良かった (単位は、%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>31%</td> <td>51%</td> <td>13%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>29%</td> <td>65%</td> <td>4%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>55%</td> <td>39%</td> <td>5%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>		回答者	④	③	②	①	生徒	31%	51%	13%	5%	教師	29%	65%	4%	2%	保護者	55%	39%	5%	1%	生徒 B 3.07 教員 A 3.21 保護者 A 3.48 TOTAL 3.26	A	/	/
回答者	④	③	②	①																					
生徒	31%	51%	13%	5%																					
教師	29%	65%	4%	2%																					
保護者	55%	39%	5%	1%																					
<p style="text-align: center;">設問3: 校内では気持ちの良い挨拶ができています 単位は、%</p> <p style="text-align: center;">□④と思う □③どちらかといえばと思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>設問3: 校内では気持ちの良い挨拶ができています (単位は、%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>23%</td> <td>50%</td> <td>24%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>19%</td> <td>48%</td> <td>27%</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>26%</td> <td>63%</td> <td>10%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>		回答者	④	③	②	①	生徒	23%	50%	24%	3%	教師	19%	48%	27%	6%	保護者	26%	63%	10%	1%	生徒 B 2.73 教員 B 2.8 保護者 A 3.13 TOTAL 2.95	B	生徒 B 3.07 教員 B 2.9 保護者 A 3.11 TOTAL 3.03	B
回答者	④	③	②	①																					
生徒	23%	50%	24%	3%																					
教師	19%	48%	27%	6%																					
保護者	26%	63%	10%	1%																					

<p style="text-align: center;">設問4: わかりやすい授業をしている教員が多い 単位は、%</p> <p style="text-align: center;">□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>11%</td> <td>55%</td> <td>29%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>31%</td> <td>62%</td> <td>8%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>10%</td> <td>62%</td> <td>25%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	11%	55%	29%	5%	教師	31%	62%	8%	0%	保護者	10%	62%	25%	3%	生徒 B 2.73 教員 A 3.23 保護者 B 2.8 TOTAL 2.92	B	生徒 B 2.76 教員 A 3.16 保護者 B 2.84 TOTAL 2.92	B
対象	④	③	②	①																				
生徒	11%	55%	29%	5%																				
教師	31%	62%	8%	0%																				
保護者	10%	62%	25%	3%																				
<p style="text-align: center;">設問5: 教科指導に熱心な教員が多い 単位は、%</p> <p style="text-align: center;">□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>22%</td> <td>56%</td> <td>19%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>40%</td> <td>56%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>18%</td> <td>62%</td> <td>19%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	22%	56%	19%	3%	教師	40%	56%	4%	0%	保護者	18%	62%	19%	1%	生徒 B 2.96 教員 A 3.37 保護者 B 2.96 TOTAL 3.09	B	生徒 B 3.08 教員 A 3.28 保護者 B 3.03 TOTAL 3.13	A
対象	④	③	②	①																				
生徒	22%	56%	19%	3%																				
教師	40%	56%	4%	0%																				
保護者	18%	62%	19%	1%																				
<p style="text-align: center;">設問6: 知的好奇心を抱かせたり、学習意欲が高まる授業が多い</p> <p style="text-align: center;">□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>9%</td> <td>38%</td> <td>45%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>12%</td> <td>63%</td> <td>25%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>9%</td> <td>54%</td> <td>32%</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	9%	38%	45%	8%	教師	12%	63%	25%	0%	保護者	9%	54%	32%	6%	生徒 C 2.48 教員 B 2.87 保護者 B 2.66 TOTAL 2.67	B	生徒 C 2.49 教員 B 2.86 保護者 B 2.73 TOTAL 2.69	B
対象	④	③	②	①																				
生徒	9%	38%	45%	8%																				
教師	12%	63%	25%	0%																				
保護者	9%	54%	32%	6%																				

<p>設問7: 課題の内容と量は学力をつける上で適切である 単位は、%</p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>13%</td> <td>48%</td> <td>27%</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>12%</td> <td>60%</td> <td>27%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>58%</td> <td>18%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	13%	48%	27%	12%	教師	12%	60%	27%	1%	保護者	20%	58%	18%	3%	生徒 B 2.61 教員 B 2.81 保護者 B 2.95 TOTAL 2.79	B	生徒 B 2.74 教員 B 2.96 保護者 B 3.04 TOTAL 2.91	B
対象	④	③	②	①																				
生徒	13%	48%	27%	12%																				
教師	12%	60%	27%	1%																				
保護者	20%	58%	18%	3%																				
<p>設問8: 課題をこなすことで学力がついていると感じる 単位は、%</p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>10%</td> <td>44%</td> <td>34%</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>8%</td> <td>56%</td> <td>33%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>18%</td> <td>53%</td> <td>24%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	10%	44%	34%	11%	教師	8%	56%	33%	4%	保護者	18%	53%	24%	5%	生徒 C 2.54 教員 B 2.67 保護者 B 2.84 TOTAL 2.68	B	生徒 B 2.61 教員 B 2.92 保護者 B 2.89 TOTAL 2.81	B
対象	④	③	②	①																				
生徒	10%	44%	34%	11%																				
教師	8%	56%	33%	4%																				
保護者	18%	53%	24%	5%																				
<p>設問9: 自主的な学習に取り組みやすい学習環境が整えられている 単位は、%</p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>16%</td> <td>48%</td> <td>27%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>6%</td> <td>50%</td> <td>35%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>17%</td> <td>59%</td> <td>21%</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	16%	48%	27%	9%	教師	6%	50%	35%	10%	保護者	17%	59%	21%	4%	生徒 B 2.72 教員 C 2.52 保護者 B 2.89 TOTAL 2.71	B	生徒 B 2.95 教員 B 2.69 保護者 B 2.97 TOTAL 2.87	B
対象	④	③	②	①																				
生徒	16%	48%	27%	9%																				
教師	6%	50%	35%	10%																				
保護者	17%	59%	21%	4%																				
<p>設問10: 自分の進路に応じた効果的な選択科目が準備されている 単位は、%</p> <p>□④そう思う □③どちらかといえばそう思う □②どちらかといえばそう思わない □①そう思わない</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>④</th> <th>③</th> <th>②</th> <th>①</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒</td> <td>30%</td> <td>54%</td> <td>13%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>教師</td> <td>21%</td> <td>63%</td> <td>13%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>30%</td> <td>60%</td> <td>9%</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	④	③	②	①	生徒	30%	54%	13%	3%	教師	21%	63%	13%	3%	保護者	30%	60%	9%	1%	生徒 A 3.11 教員 B 3.04 保護者 A 3.18 TOTAL 3.11	A	生徒 A 3.16 教員 A 3.36 保護者 A 3.16 TOTAL 3.23	A
対象	④	③	②	①																				
生徒	30%	54%	13%	3%																				
教師	21%	63%	13%	3%																				
保護者	30%	60%	9%	1%																				

設問11:1年次の選択科目ガイダンスを通じて進路意識が高まった				
<input type="checkbox"/> ④そう思う <input type="checkbox"/> ③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/> ②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ①そう思わない				
生徒		生徒 B 2.89	生徒 B 3.02	A
教師		教員 A 3.12	教員 A 3.33	
保護者		保護者 B 2.95	保護者 B 3.02	
TOTAL		TOTAL 2.99	TOTAL 3.12	

設問12:生徒と教員は普段から十分なコミュニケーションがとれている				
<input type="checkbox"/> ④そう思う <input type="checkbox"/> ③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/> ②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ①そう思わない				
生徒		生徒 B 2.71	生徒 B 2.76	B
教師		教員 B 2.77	教員 B 2.8	
保護者		保護者 B 2.99	保護者 B 3.06	
TOTAL		TOTAL 2.82	TOTAL 2.87	

設問13:困ったときに相談できる教員がいる 単位は、%				
<input type="checkbox"/> ④そう思う <input type="checkbox"/> ③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/> ②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ①そう思わない				
生徒		生徒 C 2.33	生徒 C 2.48	B
教師		教員 B 2.85	教員 B 2.8	
保護者		保護者 B 2.66	保護者 A 2.81	
TOTAL		TOTAL 2.61	TOTAL 2.7	

設問14:学校行事等は、生徒の自主性が高められるように工夫されている				
<input type="checkbox"/> ④そう思う <input type="checkbox"/> ③どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/> ②どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ①そう思わない				
生徒		生徒 B 2.76	生徒 B 3.02	B
教師		教員 C 2.54	教員 B 2.71	
保護者		保護者 B 3.01	保護者 B 3.04	
TOTAL		TOTAL 2.77	TOTAL 2.93	

設問15: 部活動の指導内容や活動時間は適切である 単位は、%				
<input type="checkbox"/> ④ そう思う <input type="checkbox"/> ③ どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/> ② どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ① そう思わない				
生徒		生徒 B 3	生徒 2.95	
教師		教師 B 2.79	教師 2.78	B
保護者		保護者 B 2.95	保護者 2.96	
		TOTAL 2.91	TOTAL 2.9	
設問16: 年次通信・HPなどを通して適切な情報発信を行っている				
<input type="checkbox"/> ④ そう思う <input type="checkbox"/> ③ どちらかといえばそう思う <input type="checkbox"/> ② どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ① そう思わない				
生徒		生徒 B 3.03	生徒 A 3.13	
教師		教師 A 3.15	教師 A 3.16	B
保護者		保護者 B 3.02	保護者 B 3.04	
		TOTAL 3.07	TOTAL 3.11	A